

「給水装置工事申込書」提出前のチェックリスト(八尾水道センター)

調 査		チェック欄
1	工事場所（住所、住居表示番号、給水区域）	☐
2	使用場所（使用目的、使用人員、使用期間）	☐
3	既設給水装置の有無（形態、管種、口径、布設位置、水栓番号）	☐
4	配水管及び給水主管の布設状況（管種、口径、埋設位置、管輻番号、水圧）	☐
5	道路の状況（道路種別（国道、府道、市道、里道、私道、河川敷等）、路線名、舗装種別、放送年次）	☐
6	河川・水路等の状況	☐
7	各種埋設物の有無（企業団水道、下水道、ガス、電気、電話等の口径、布設位置）	☐
8	現地の施行環境（施行時間、関連工事、公害対策）	☐
9	既設給水主管等から分岐する場合（所有者、給水能力、既設建物との関連）	☐
10	工事に関する同意承諾の確認（土地承諾、分岐承諾、その他利害関係）	☐
11	建築配置図と関係図面（建築確認通知書）	☐
12	新設給水管（管種、口径）屋外配管（止水栓・メーターの位置、布設位置）	☐
13	新設給水管（管種、口径）屋内配管（給水栓の位置(種類と個数)、給水用具、分岐点と給水口の高低差）	☐
14	貯水槽給水方式の場合（貯水槽の構造、位置、点検口の位置、配管ルート）	☐
設計図書の作成（申込書提出前に、必ず確認すること）		チェック欄
1	図面は、位置図、 平面図 、 立面図(3階以上) 必要により詳細図、 断面図 、関連図、系統図及び構造図とする。	☐
2	縮尺は、平面図1/300～1/100、断面図及び構造図は、1/100～1/50を標準とし、 図面ごとに縮尺 を記入すること。	☐
3	単位は、 延長をm、口径をmm とする。	☐
4	平面図に記入するもの	☐
	a 方位 （原則として北を図面の上方とする）	☐
	b 公道（路線名の記入 (例)市道八尾第100号線等 ）私道等の明記	☐
	c 配水管（位置、管種、口径、管輻番号） (例) PE50 R05Z13等 （給水管敷設の場合土被りの記入H=1.0m等）	☐
	d 給水分岐工法（ (例)サドル分水栓φ100×20等 ）の表示	☐
	e 給水管（ (例) PPφ20×2.5等 ）の表示 ※既設利用の場合は、表示不要	☐
	f 門、塀、出入口、敷地境界線、敷地寸法の記入	☐
	g 玄関、水栓に関係ある間取り	☐
	h 既設管、新設管の口径、管種、延長、布設位置(道路幅員、寄りの記入)	☐
	i メーター及び止水栓の目標位置からの距離	☐
	j メーター等の口径((例)メーターφ20、直結止水栓φ20等)の記入	☐
	k 立ち上り管の延長（2階、石垣等の立ち上り）	☐
	l 水栓番号等 （ (例)専160200、R067t10等 ）	☐
M 本管布設（D工事）時の明記項目（平面図：管種・口径・延長・管割・継手等）（立面図：材料名必須）	☐	
5	位置図に記入するもの	☐
	a 申請地（ 赤書きとする ）	☐
	b 町丁名	☐
	c 目標となる建物の名称等	☐
6	施行後必ず配水管の埋設深さを記入	☐
7	その他	☐
	a 貯水槽給水の図面は、直結直圧給水部分（貯水槽まで）（ 赤色実線 ）、貯水槽まわりの詳細図と貯水槽以下（ 緑色実線 ）に分けること	☐
	b 井戸水管、雑用水管及び工業用水管がある場合は、配管を記入すること	☐
	c その他特記事項があれば、記入すること	☐
主な添付書類の確認		チェック欄
1	内部申請時、「 建築確認済証第一・二面の写し 」	☐
2	撤去申請（ 給水廃止 ）時、「開閉栓届（ 所有者の自署又は記名押印（法人については記名押印）が必要 ）」	☐